

TORO®

Count on it.

オペレーターズマニュアル

スポーツフィールド・エッジヤー
Sand Pro® 3040 および 5040 トラクションユニット用

モデル番号 08766—シリアル番号 315000201 以上



この製品は、関連する全ての欧州指令に適合しています。詳細についてはこの冊子の末尾にあるDOI適合宣誓書をご覧ください。

⚠ 警告

カリifornia州 第65号決議による警告

米国カリifornia州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとされております。

はじめに

このキットは、サンドプロのトラクションユニットに搭載して使用する専門業務用の製品であり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、芝生面と舗装されていないダート面との間に明確な境界部を作るための装置です。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からないまた適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

弊社のウェブサイトwww.Toro.comで、製品の安全な取扱いや運転に関する講習資料、アクセサリ情報の閲覧、代理店についての情報閲覧、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

整備について、また純正部品についてなど、分からることはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。**図 1**にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

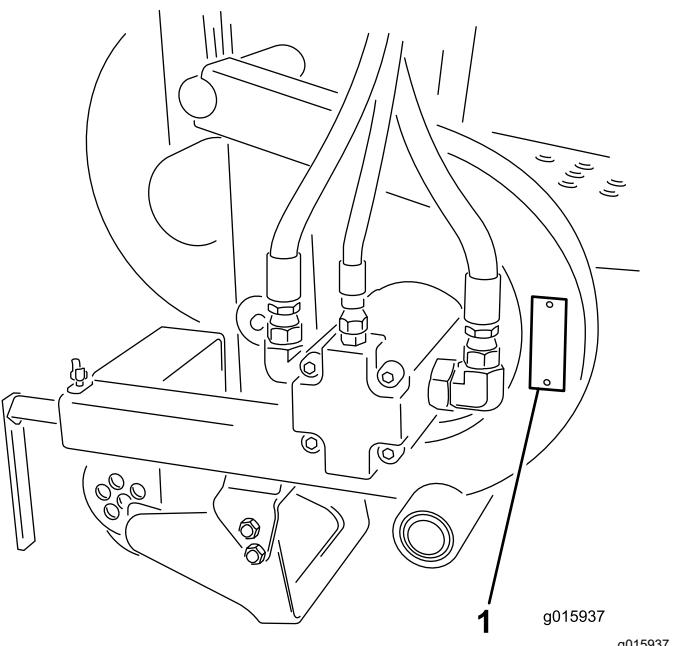


図 1

1. モデル番号とシリアル番号の表示場所

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号**図 2**を使用しております。死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから必ずお守りください。



g000502

図 2

1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。重要「重要」は製品の構造などについての注意点を、注はその他の注意点を表しています。

目次

安全について	3
運転の前に	3
運転操作	3
保守	4
安全ラベルと指示ラベル	5
組み立て	6
1 クロスチューブ・アセンブリを取り付け る	7

2 カッターヘッドアセンブリを取り付け る.....	7
3 ホースガイドを取り付ける.....	8
4 油圧ホースの敷設を行う.....	8
5 油圧オイルを点検する.....	8
製品の概要	10
各部の名称と操作	10
運転操作	10
エッジヤーの操作.....	10
ブレードの食い込み深さを調節する	10
整列ガイドの使い方	11
保守	12
エッジヤーの潤滑.....	12
エッジヤーブレードの交換	12
保管	13

安全について

安全な御使用のためには機械の運転、移動や搬送、保守整備、保管などに係わる人々の日常の意識や心がけ、また適切な訓練などが極めて重要です不適切な使い方をしたり手入れを怠ったりすると、死亡や負傷などの人身事故につながります。事故を防止するために以下に示す安全のための注意事項を必ずお守りください

運転の前に

- ・ 本機をご使用になる前に必ずこのマニュアルとサンドプロのトラクションユニットのマニュアルの両方をお読みになり内容をよく理解してください操作方法をしっかりと身につけ、緊急時にすぐに停止できるようになってください。マニュアルが足りない場合は、製品のモデル番号とシリアル番号を以下までお知らせください。The Toro® Company, 8111 Lyndale Avenue South, Bloomington, Minnesota 55420-1196。
- ・ 子供に運転させないでください。大人であっても適切な訓練を受けていない人には運転させないでください。このマニュアルを読み、内容をきちんと理解した人のみが取り扱ってください。
- ・ アルコールや薬物を摂取した状態で運転や操作を行うことは避けてください。
- ・ 作業場所から人を十分に遠ざけてください。
- ・ ガードなどの安全装置は必ず所定の場所に取り付けて使用してください。安全カバーや安全装置が破損したり、ステッカーの字がよめなくなったりした場合には、機械を使用する前に修理や交換を行ってください。また、常に機械全体の安全を心掛け、ボルト、ナット、ネジ類が十分に締まっているかを確認してください。
- ・ サンダルやテニスシューズ、スニーカーやショーツでの作業は避けてください。また、だぶついた衣類は機械にからみつく危険がありますから着用しないでください。作業には、必ず長ズボンと頑丈な靴を着用してください。安全メガネ、安全靴、およびヘルメットの着用をおすすめします。地域によってはこれらの着用が義務付けられています。

運転操作

- ・ 締め切った場所でエンジンをかけるときは、必ず十分な換気を確保してください。エンジンからの排気は有毒であり、場合によっては死亡事故につながります。
- ・ 車両は一人乗りです。絶対に人を乗せないでください。
- ・ エンジンの始動や運転操作は必ず着席して行ってください。
- ・ 運転には十分な注意が必要です転倒や暴走事故を防止するために以下の点にご注意ください
 - 作業は日中または十分な照明のもとで行う。

- ゆっくりとした走行速度で運転し、隠れた穴などの見えない障害に警戒を怠らない。
- 小さな旋回をするときや法面で旋回するときは、走行速度を十分に落とす。
- 急停止や急発進をさける。
- バックするときには、後方の安全に注意し、マシンの後部に人がいないことを十分に確認する。
- 道路付近で作業するときや道路を横断するときは周囲の交通に注意する。常に道を譲る心掛けを。
- ・ 斜面でエンストしたり、坂を登りきれなくなったりした時は、絶対にターンしないでください。必ずバックで、ゆっくりと、まっすぐに下がって下さい。
- ・ **大丈夫だろう、は非常に危険**人や動物が突然目の前に現れたらすぐに作業を停止しましょう 注意力の分散、アップダウン、機械から飛びだす異物など思わぬ危険があります。周囲に人がいなくなるまで作業を再開しないでください。
- ・ 機械が落雷を受けると最悪の場合死亡事故となります。稲光が見えたり雷が聞こえるような場合には機械を運転しないで安全な場所に避難してください。
- ・ エンジン作動中や停止直後は、エンジン本体やマフラーが熱くなっていますから手を触れないでください。触ると火傷を負う危険があります。

保守

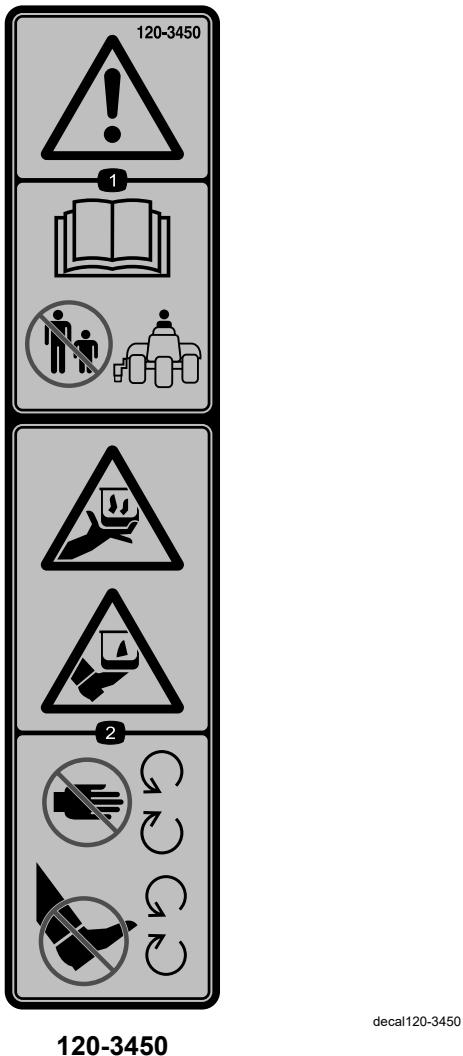
- ・ 整備・調整格納作業の前には、エンジンが不意に作動することのないよう、必ずキーを抜き取っておいてください。
- ・ このマニュアルに記載されている以外の保守整備作業は行わないでください。大がかりな修理が必要になった時や補助が必要な時は、Toro 正規代理店にご相談ください。
- ・ 火災防止のため、エンジンの周囲に、余分なグリス、草や木の葉、ホコリなどが溜まらないようご注意ください。高温のエンジンに水をかけたり、電装部に水を掛けたりしないでください。
- ・ ボルト、ナット、ネジ類は十分に締めつけ、常に機械全体の安全を心掛けてください。
- ・ 油圧系統のラインコネクタは頻繁に点検してください。油圧を掛ける前に、油圧ラインの接続やホースの状態を確認してください。
- ・ 油圧のピンホール・リークやノズルからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけないでください。リークの点検には新聞紙やボール紙を使う。高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。万一、油圧オイルが体内に入った場合には、この種の労働災害に経験のある施設で数時間以内に外科手術を受けないと壊疽えそを起こします。
- ・ 油圧系統の整備作業を行う時は、必ずエンジンを停止し、アタッチメントを下降させてシステム内部の圧力を完全に解放してください。

- ・ エンジンを回転させながら調整を行わなければならぬ時は、手足や頭や衣服をファンやその他の可動部に近づけないように十分ご注意ください。
- ・ ガバナの設定を変えてエンジンの回転数を上げないでくださいトロ正規代理店でタコメータによるエンジン回転数検査を受け、安全性と精度を確認しておきましょう。
- ・ オイルの点検や補充は必ずエンジンを停止した状態で行ってください
- ・ せっかく手に入れた大切な機械を守り、確かな性能を維持するために、交換部品はトロの純正部品をご使用ください。純正パーツは、トロが設計・指定した、完成品に使用されているものと全く同じ、信頼性の高い部品です。確かな安心のために、トロの純正にこだわってください。

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。読めなくなつたものは必ず新しいものに貼り替えてください。



1. 警告 オペレーターズマニュアルを読んで運転し、周囲に人を近づけないこと。
2. エッジヤーによる切傷や手足の切断の危険可動部に手足を近づけないこと 使用時にはすべての安全カバー類を正しく取り付けておくこと。

組み立て

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	クロスチューブ・アセンブリ ねじ3/8 x 3 インチ 平ワッシャ ロックナット $\frac{3}{8}$ "	1 4 4 4	クロスチューブ・アセンブリを取り付けます。
2	カッターヘッドアセンブリ ヒッチピン	1 1	カッターヘッドアセンブリを取り付けます。
3	ホースガイド フランジ・ナット	1 1	ホースガイドを取り付けます。
4	必要なパーツはありません。	—	油圧ホースの敷設を行います。
5	必要なパーツはありません。	—	油圧オイルを点検します。

その他の付属品

内容	数量	用途
パーツカタログ	1	パーツ番号を調べるための資料です。
オペレーターズマニュアル	1	ご使用前にお読みください。
認証証明書	1	規格適合認定書

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

注 スポーツフィールド・エッジャーを使うには、トラクションユニットに後部リモート油圧キットModel 08781を搭載する必要があります。後部リモート油圧キットのシリアル番号が310000001未満の場合には、後部リモート油圧キットを更新する必要があります。「組み立て」の「手順1」へ進む。

1

クロスチューブ・アセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	クロスチューブ・アセンブリ
4	ねじ3/8 x 3 インチ
4	平ワッシャ
4	ロックナット3/8"

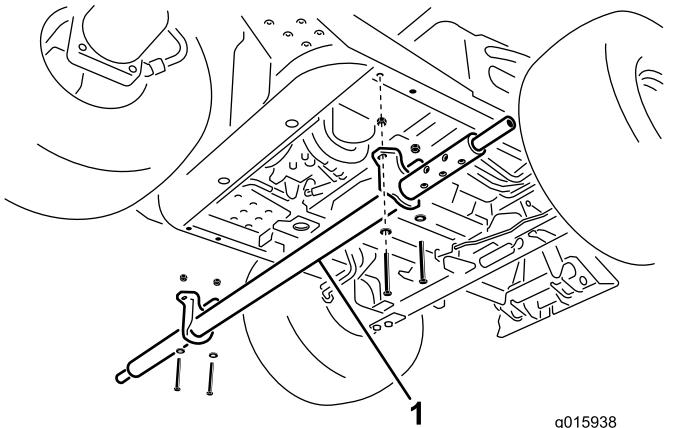


図 4

- クロスチューブ・アセンブリ

手順

注 サンドプロのトラクションユニットにミッドマウントツールシステムが搭載されている場合には、サドルブラケットとフットガードがついている場合にはフットガードもを機体に固定している金具類を取り外します。サドルブラケットおよびフットガードとそれらの固定具を外して捨ててください図3。そして、ミッドマウントツールシステムが落ちないように何かで支えてください。

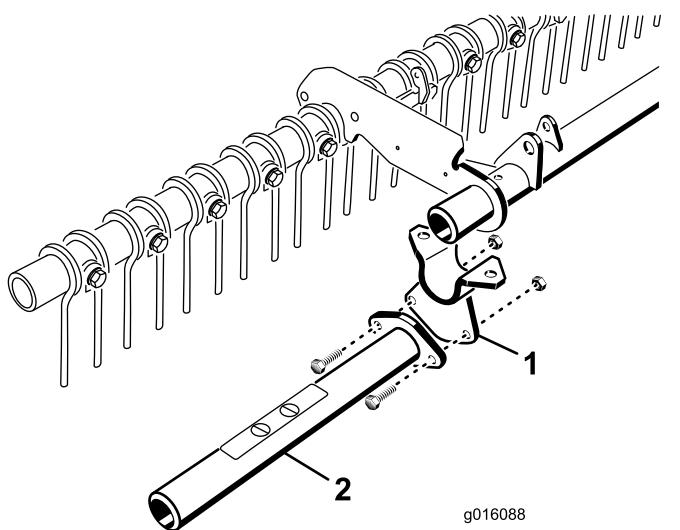


図 3

1. サドルブラケット

2. フットガード

- 機体の左側から、クロスチューブ・アセンブリを機体の下に差し入れ、取り付けブラケットの穴をフレームチューブの穴に合わせる図4。

2

カッターヘッドアセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	カッターヘッドアセンブリ
1	ヒッチピン

手順

- クロスチューブに、カッターヘッドのピボットチューブを通す図5。

g016088

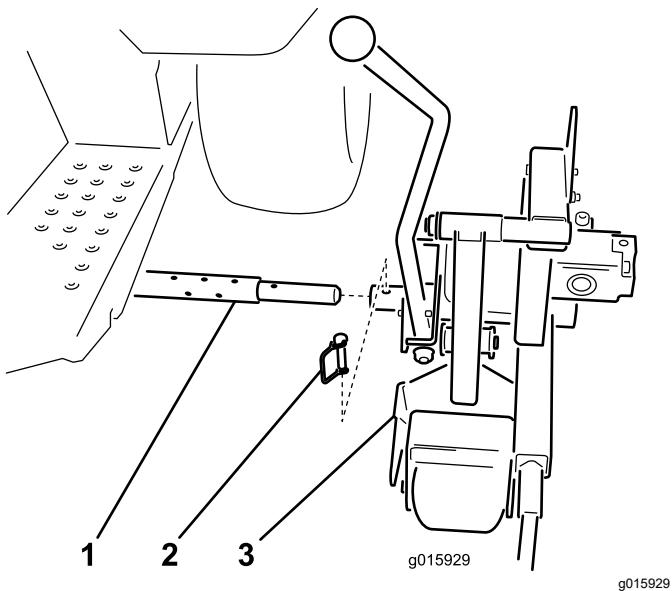


図 5

1. クロスチューブ
2. ヒッチピン
3. カッターヘッド

2. カッターヘッドをクロスチューブにヒッチピンで固定する図 5。

3

ホースガイドを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ホースガイド
1	フランジ・ナット

手順

1. 油圧タンク用の上クランプをフレームに固定しているボルト、ワッシャ、ナットを外す図 6。

注 外したクランプ、ボルト、ワッシャ、ナットは捨てる。

注 油圧タンク用のクランプは前の作業すでに取り外されているかもしれません。

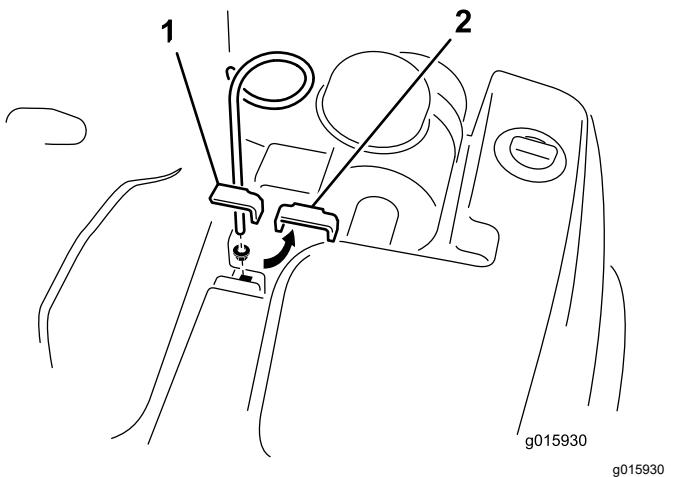


図 6

1. ホースガイド
2. フランジナット付属部品を使って、ホースガイドを取り付ける。
注 ホースガイドは 図 6 のように組み付ける。

4

油圧ホースの敷設を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 油圧ホースをホースガイドに通し、機体後方へ導く図 7。

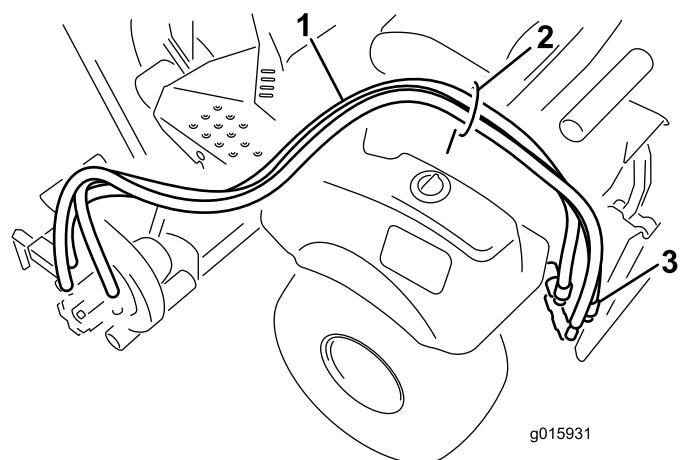


図 7

1. 油圧ホース
2. ホースガイド
3. 後リモートコネクタ
2. ホースを後リモートコネクタに接続する図 7。
注 ホースはどちらのコネクタにでも接続できます。

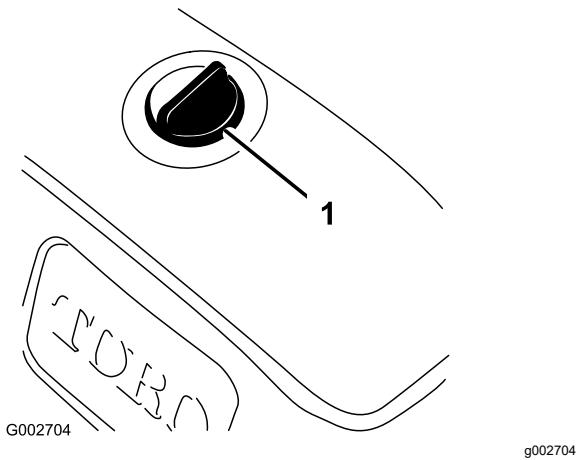
5

油圧オイルを点検する

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. エンジンを停止させ、スロットルコントロールを SLOW 位置にし、キーを OFF 位置に回し、安全のためにキーを抜き取る。
3. 異物をタンクに入れないよう、油圧オイルタンクのキャップ取り付け部周辺をウェスできれいに拭く図 8。



4. タンクからキャップを取る。
5. 補給口の首からディップスティックを抜き、ウェスできれいに拭う。
6. もう一度首に差し込んで引き抜き、オイルの量を点検する。

注 マーク位置ディップスティックのくびれている所まであればよい図 9。

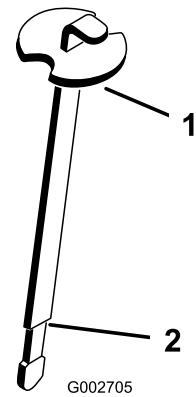


図 9

g002705

-
1. ディップスティック
 2. FULL マーク

7. 量が不足している場合には、適切なオイルを、ディップスティックの FULL マーク位置までゆっくりと補給する。

注 入れすぎないこと。

8. タンクにキャップを取り付ける。

注 油圧回路の汚染を防止するため、オイルの缶を開ける前に、缶のふたの表面をきれいに拭ってください。また、給油ホースやロートなども汚れがないようにしてください。

製品の概要

各部の名称と操作

ハンドル

このハンドルでエッジャーの上げ下げを行います図 10。

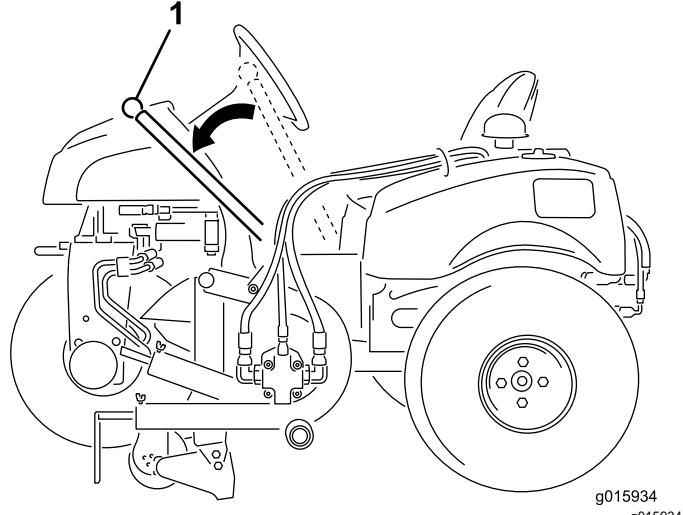


図 10

1. ハンドル

整列ガイド

調整ねじをゆるめて、整列ガイドを希望する位置までずらす図 11。

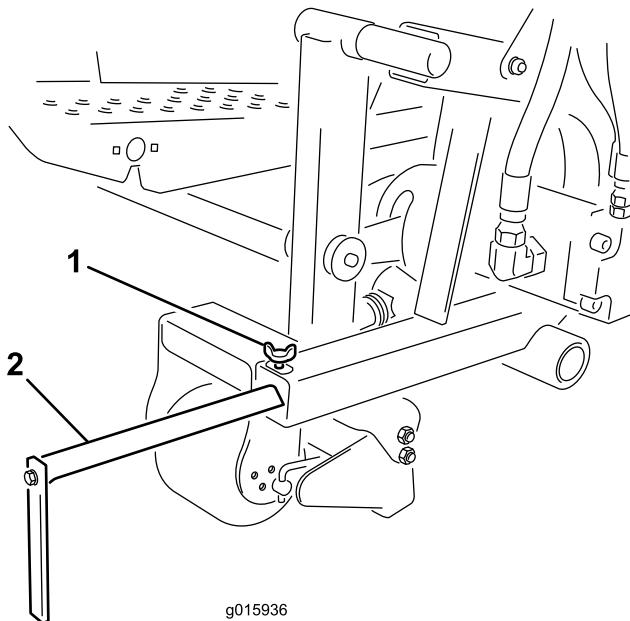


図 11

1. 調整ねじ

2. 整列ガイド

運転操作

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

エッジャーの操作

1. エンジンを掛ける。
2. ハンドルを外側に倒してエッジャーのブレードを地表面まで下降させる図 10。
3. リモート油圧コントロールノブを上に引いてブレードに油圧を掛ける図 12。

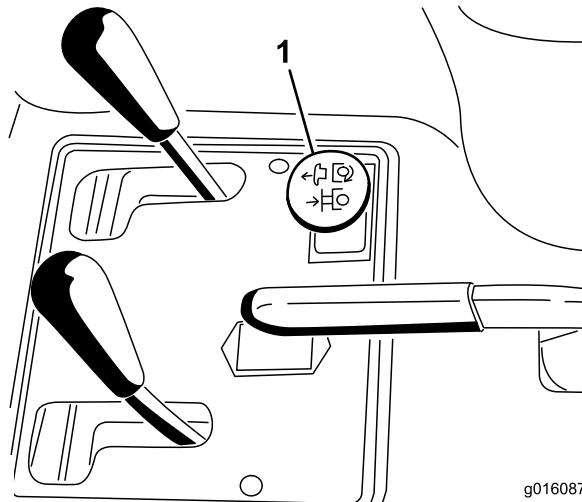


図 12

1. リモート油圧コントロールノブ

4. ゆっくりと前進を開始23km/hする。

5. エッジング作業を終了するには

- ハンドルを外側に倒してエッジャーのブレードを移動走行位置に上昇させる図 10。
- リモート油圧コントロールノブを押し込んでブレードを解除する図 12。

ブレードの食い込み深さを調節する

1. スロットルコントロールをSLOW位置にし、キーをOFF位置に回し、安全のためにキーを抜き取る。
2. エッジャーを移動走行位置まで上昇させる。
3. ローラのシャフトからスクレーパのロッドを外す図 13。

g015936

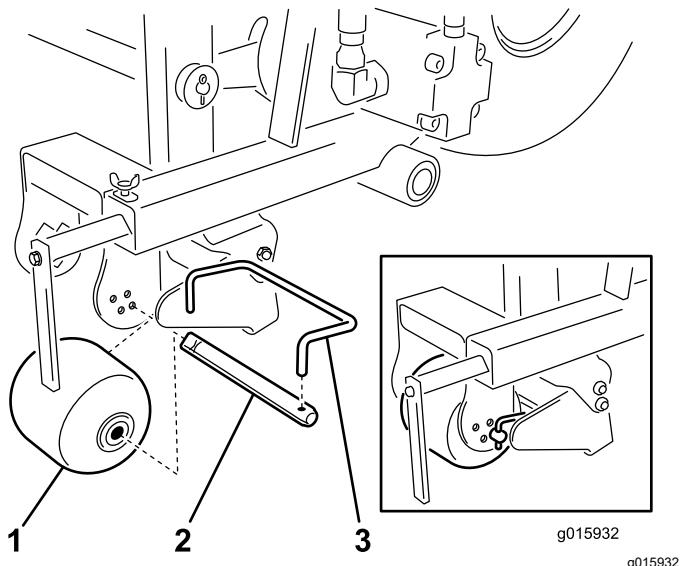


図 13

- 1. ローラ
 - 2. ローラのシャフト
 - 3. スクレーパのロッド
-
- 4. ローラからシャフトを外す図 13。
 - 5. 希望する深さにローラをセットしてシャフトを挿入する。始めは低い15mm40mm設定からスタートする。
- 注 ローラを下げるときエッジング深さは浅くなります。
- 6. 設定が決まったら、スクレーパロッドとローラをロックする。

整列ガイドの使い方

整列ガイドを使うと、目視で直線を確保する目標ラインを確保するのに便利です。

1. 調整ねじをゆるめ、整列ガイドを前後に移動させて希望する位置に調整する図 11。
2. ガイドを目標とする線や糸に合わせる。
3. ねじを締め付ける。

保守

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

エッジヤーの潤滑

100 運転時間ごとに、グリスフィッティングからNo.2汎用リチウム系グリスを注入してください図 14。

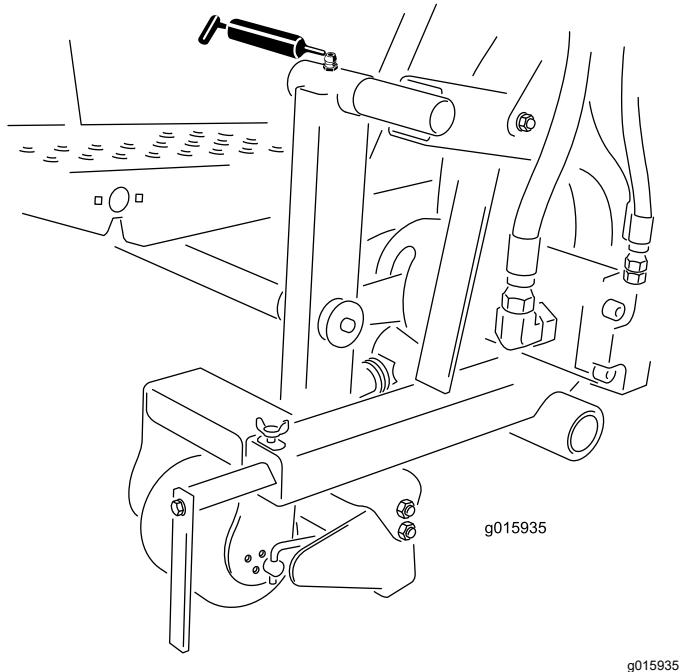


図 14

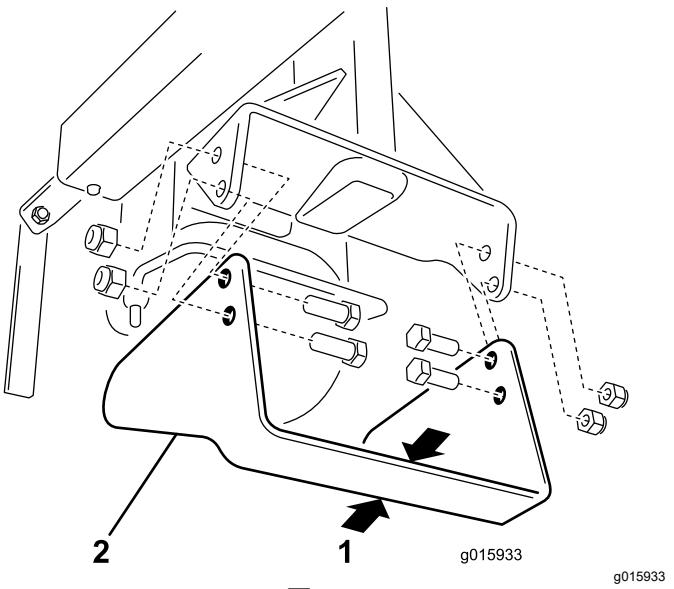


図 15

1. ブレードの幅
2. エッジヤーブレード
4. おなじねじとナットを使って新しいブレードを取り付ける。

エッジヤーブレードの交換

エッジヤーブレードは頻繁に点検し、ブレードの幅が 32 mm まで磨耗したら交換してください図 15。

1. エンジンを停止させ、スロットルコントロールを SLOW 位置にし、キーを OFF 位置に回し、安全のためにキーを抜き取る。
2. エッジヤーを移動走行位置まで上昇させる。
3. ブレードをカッターアームに固定している4本のねじと4個のナットを外す図 15。

保管

- ・ 洗車するシール部分やベアリングに浸水させる危険を避けるために、洗車には圧力洗浄器を使わず、普通のホースを使用する。
- ・ ボルトナット類にゆるみなどがいか点検し、必要な締め付けを行う。
- ・ フィッティングにグリスを注入する。余分なグリスはふき取る。
- ・ エッジヤーブレードを点検し、必要に応じて補給する。

メモ

メモ

メモ

組込宣言書

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
08766	315000001 以上	スポーツフィールド・エッジャー	VIBRATORY EDGER, QAS	振動式エッジャー	2006/42/EC

2006/42/EC 別紙 VII パートB の規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み

権限を有する代表者



Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
10月 18, 2022

UK Declaration of Incorporation

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
08766	315000001 以上	スポーツフィールド・エッジャー	VIBRATORY EDGER, QAS	振動式エッジャー	S.I. 2008 No. 1597

S.I. 2008 No.1597のSchedule 10に基づいて、関連する技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する規制等に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

This declaration has been issued under the sole responsibility of the manufacturer.

The object of the declaration is in conformity with relevant UK legislation.

権限を有する代表者



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
10月 18, 2022

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro U.K. Limited
Spellbrook Lane West
Bishop's Stortford
CM23 4BU
United Kingdom

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company ("Toro") は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡ください legal@toro.com。

セキュリティーについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたの情報をあなたの居住国外に移動する場合には、弊社は必ず法律が定める手続きを踏み、あなたの情報が安全に取り扱われ適切な保護がおこなわれるよう、そして正しく取り扱われるよう配慮します。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社があなたの情報を取り扱った方法に懸念をお感じになった場合には、弊社に直接申し立てをしていただくようにお願い申し上げます。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワンティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。

*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなくなったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740

E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびペーリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出来ることのできるエネルギーの総量 kWh が決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額遞減方式となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらにかかる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての默示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また默示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。